



[ものづくり・商い・もてなし]

景 003 (H17) 歴 009 (H21)

江戸後期（文政年間）の創業当初から「油商」を代々の生業としてきた山中油店は、初代平兵衛が当地に店を構えてから現在に至るまで油一筋200年の歴史を守っています。

店のある下丸屋町は、平安時代には平安宮内裏の一角をなし、天皇や貴族を中心とした雅な王朝文化の世界が繰り広げられました。

下立売通に面し平入平屋のミセ棟と、平入ツシ2階の主屋が2棟並び、主屋の東には庭を挟んで妻入腰板張り、塗籠の土蔵が建っています。

西側ミセ棟の奥には、作業棟があります。また、東側には格子戸の出入口や物見の窓などを設けた高塀が主屋と蔵をつなぎ、通り景観の連続性をたもっています。

正面外観は、半間の揚げ見世（バッタリ床几）と出格子、飾り窓からなり、揚げ見世の上部には雨風を防ぐ部（諸折の板戸）が残されており、こうした造作が見られる町家は、今やきわめて珍しいものとなっています。

現在では数少なくなった油の専門店として、油のおいしさ、おもしろさ、奥深さを語り続けてゆくためにも、品質の高い油を取り揃えています。



下立売通り



店内



〒602-8176 京都市上京区下立売通智恵光院西入508

電話番号 075-841-8537

F A X 075-822-4353

アクセス 市バス「丸太町智恵光院」徒歩3分

ホームページ <https://www.yoil.co.jp/>